令和8年9月
品川区長 定例記者会見

インフルエンザ予防接種　前倒しで開始

新規

— 令和8年9月 品川区長 定例記者会見 —

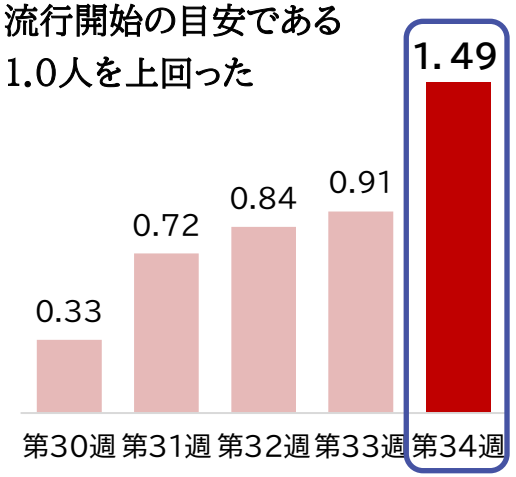
都内で急増する「インフルエンザ」対策

例年10月から開始するインフルエンザ予防接種を 1週間前倒しに

背景

都インフルエンザ患者報告数の推移
（定点医療機関あたり）

第34週（8/17～23）に入り
流行開始の目安である
1.0人を上回った



（データ出典：厚生労働省「インフルエンザの発生状況について」）

第35週（8/24～30）に
都では
2.65人

8/28 厚生労働省が流行入りを発表
8/31 厚生労働省が定期接種の
前倒しを可能と通知

発生予防や
蔓延防止対策が急務

実施内容

準備が整った医療機関より順次接種開始（9/24～）

区分	接種期間	
	当初	変更後
高齢者インフルエンザ 定期予防接種	R8.10/1～ R9.1/31	R8.9/24～ R9.1/31
子どものインフルエンザ 任意予防接種費用一部助成	R8.10/1～ R9.1/31	R8.9/24～ R9.1/31

対象

高齢者：　65歳以上の方
　　60～64歳で特定の内部障害のある方
子ども：　生後6カ月から高校3年生相当

9月補正予算案 主要施策

止水板設置等助成

建物の出入口などに設置し、雨水の浸入を防ぐ「止水板」について、申請件数大幅増加による助成件数の拡充

治水対策・災害対応

豪雨による浸水被害を軽減するための助成制度、都と連携した雨水の排水・貯留機能強化

〇助成制度「雨水浸透施設設置助成」「雨水利用タンク設置助成」　〇基盤整備「第二戸越幹線整備」「立会川暫定貯留施設整備」

LINEを活用した避難者把握システムの運用開始

避難所に掲示された二次元コードをスマホで読み取り、LINEから事前登録した情報をもとに避難所の入退所状況をリアルタイムに管理

新たに開始する取組

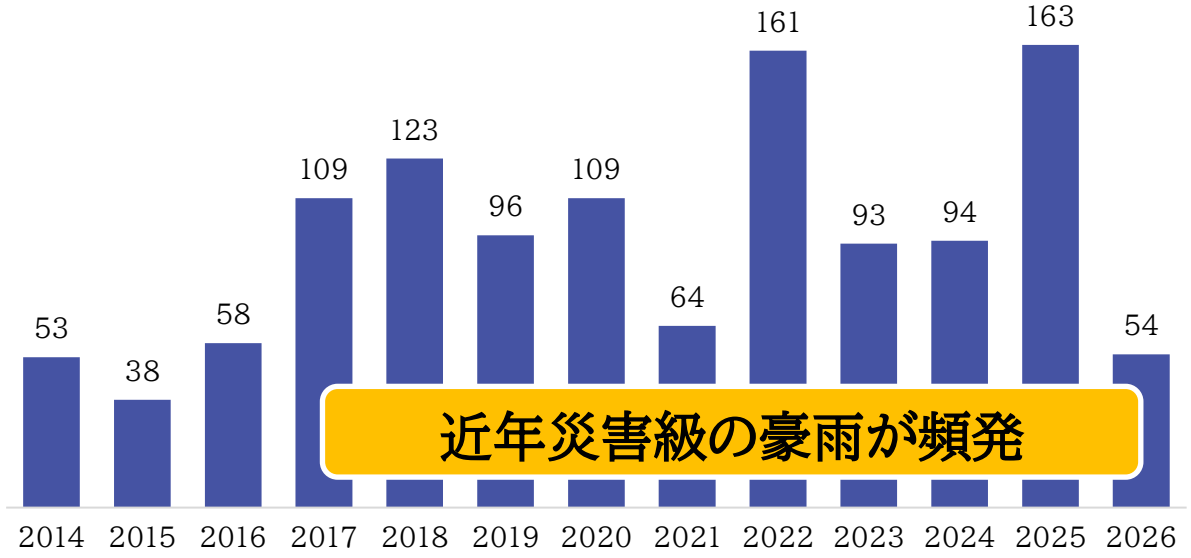
AIオンデマンド交通「しなるん」大崎地区で実証運行開始

予約に応じて乗り合いで移動するAIオンデマンド交通「しなるん」 荏原地区に続き、10月から大崎地区でも実証運行開始

災害級の豪雨被害から、区民の生命と生活を守る

記録的短時間大雨情報 発表回数の推移

数年に一度程度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨が
観測・解析された場合に発表（発表基準：80mm～120mm／時間）



※データ出典：気象庁防災情報XML「記録的短時間大雨情報」データベース（2026年8月30日現在）

＜治水対策＞

＜9月補正予算案対象事業＞

止水板設置等助成

＜その他の治水対策＞

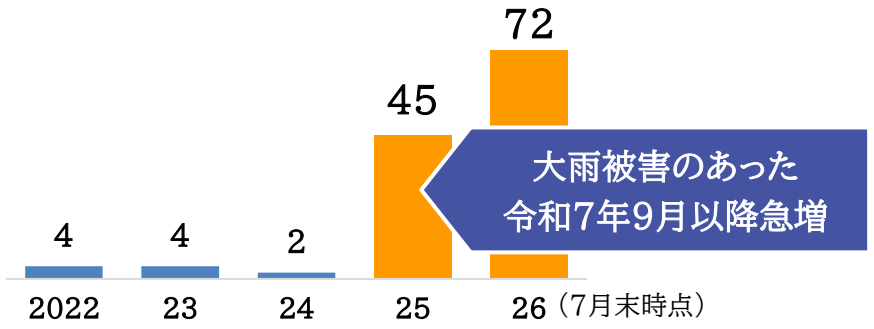
- ○雨水浸透施設設置助成
- ○雨水利用タンク設置助成
- ○第二戸越幹線整備
- ○立会川暫定貯留施設整備

止水板設置等助成：9月補正予算案対象事業　予算：69,000千円

建物の出入口などに設置し、雨水の浸入を防ぐ「止水板」助成件数の拡充

止水板設置等助成

＜止水板設置等助成申請件数の推移（単位：件数／年度）＞



申請件数増加に伴い助成件数を約150件に拡充

対象

区内の建物（全用途）

※区内全ての建物

申請期間

令和8年11月末まで

※予算に達し次第終了

助成内容

止水板設置等に要した費用の

○区内個人：4/5（上限100万円）

○区内法人：3/5（上限150万円）

主な効果

浸水を防ぐ

出入口などからの雨水の流入を防ぎ、浸水被害を軽減

すぐ設置

土のうを運ぶ・積む作業に比べ短時間で設置

治水対策

雨水の貯留・浸透対策への助成

雨水浸透施設設置助成

「雨水浸透施設」を設置する場合
設置工事費の一部を助成

助成上限 54万円まで

雨水利用タンク設置助成

「雨水利用タンク」本体購入費
設置工事費の合計の1/2を助成

助成上限 5万円まで

※そのうち設置工事費は上限1万5千円まで

都と連携し雨水の排水・貯留機能を強化

第二戸越幹線整備

戸越・西品川地区周辺の浸水被害を軽減するために
目黒川に雨水を排水する下水道管を整備

▼

令和12年度の完成を予定

立会川暫定貯留施設整備

浸水被害軽減策として、昨年度都知事との意見交換
において立会川の暫定貯留施設の容量拡大を要請

▼

貯留量を倍増

約半年早い令和8年9月から貯留開始

治水対策:立会川暫定貯留施設整備

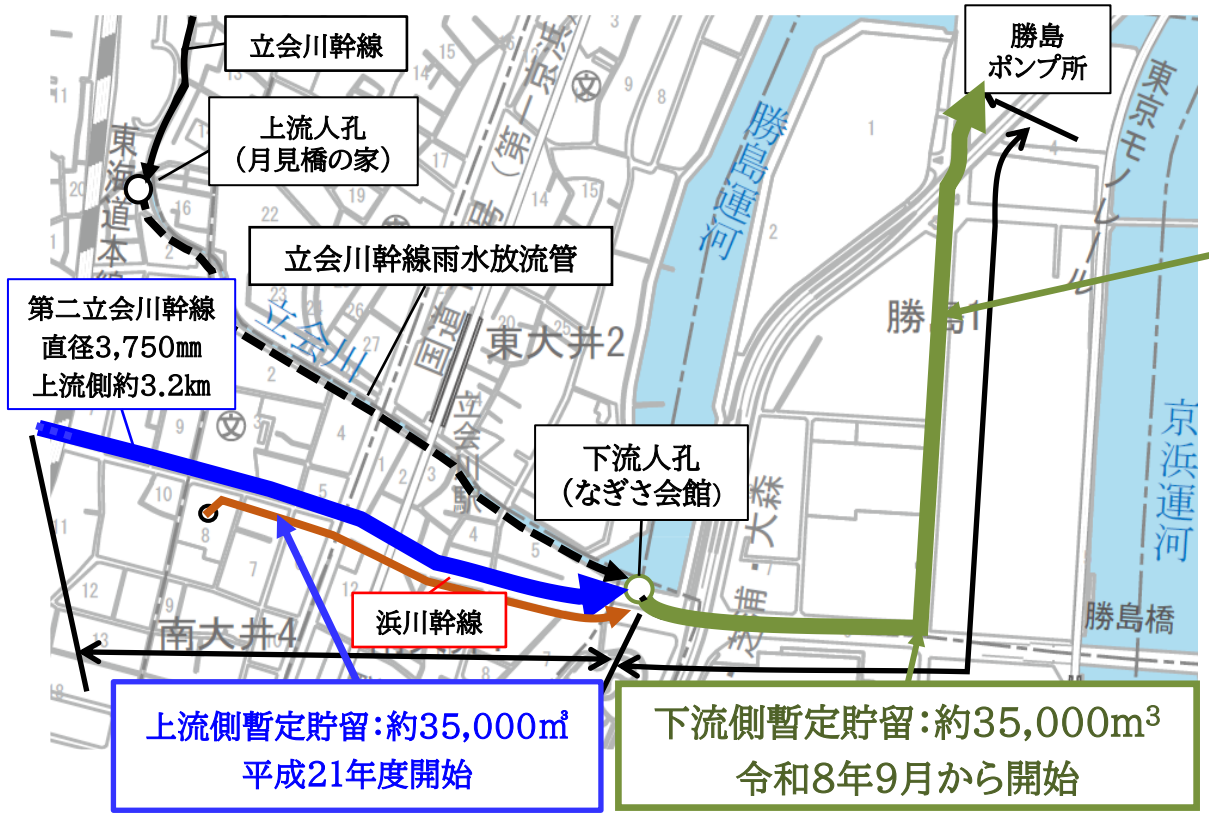
新規

— 令和8年9月 品川区長 定例記者会見 —

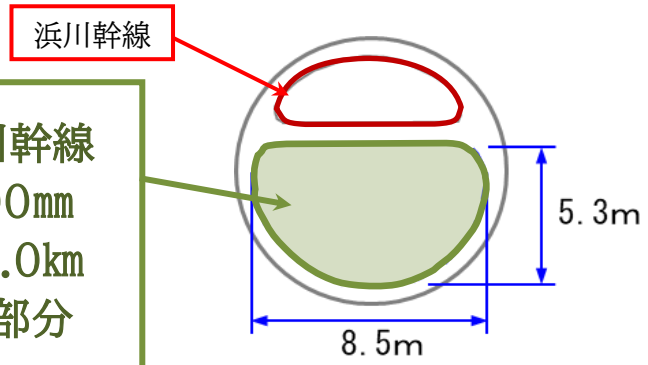
都下水道局の整備により貯留機能を強化

第二立会川幹線の暫定貯留容量を、本年9月より倍増に

立会川暫定貯留施設整備



第二立会川幹線
直径8,500㎜
下流側約1.0km
暫定貯留部分



【浜川幹線、第二立会川幹線断面図】

貯留量を3.5万㎥→約7万㎥に倍増

貯留開始時期を 約半年前倒し
（当初令和9年予定⇒令和8年9月開始）

LINEを活用した避難者把握システム

新規

令和8年9月1日 運用開始

災害時の避難者の状況を迅速・正確に把握

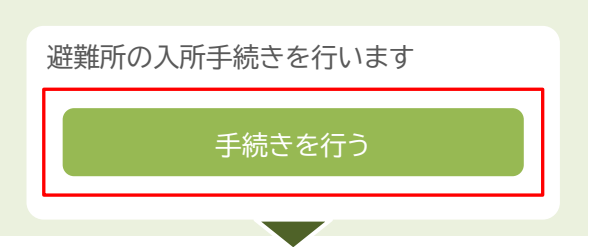
避難所に掲示された二次元コードをスマホで読み取り
LINEから事前登録した情報をもとに避難所の入退所状況をリアルタイムに管理

利用の流れ（避難所での操作は2ステップ）

❶ 二次元コードを読み取る

避難所に掲示された
二次元コードを読み取り

❷ LINEで入退所を登録



避難者を選択し確定

※事前に氏名・生年月日・住所・性別等を登録

システムの特徴

避難者数のリアルタイム把握
避難所ごとの人数や入退所状況、
避難所以外への避難者情報もリアルタイムに把握

属性・要配慮者の把握
年齢や性別、要配慮者などの属性を把握し適切な支援

迅速・的確な避難所運営
避難所の状況を正確に把握し物資・人員を適切に配分

AIオンデマンド交通「しなるん」大崎地区で実証運行開始

新規

— 令和8年9月 品川区長 定例記者会見 —

予約に応じて乗り合いで移動するAIオンデマンド交通「しなるん」

鉄道・路線バスを補完する新たな移動手段として、大崎地区で検証

しなるんとは

AIを活用した予約型の

乗り合いタクシー

予約状況に応じて最適なルートを生成し移動

＜予約方法＞

アプリ　区公式LINE　電話

令和7年7月～
荏原地区で先行実証運行中

新たに大崎地区で実証運行を開始

運行期間

令和8年10月～令和9年3月（予定）

乗降場所

38カ所

運行時間

毎日9:00～17:00

運賃

大人400円、小児（小学生）200円

しながわ電気・ガス料金緊急支援事業　申請開始

しながわ電気・ガス料金緊急支援事業

9月1日申請開始　1世帯あたり4,000円

所得制限なく全世帯（約25万世帯）を対象に還元給付

対象

令和8年6月1日時点で品川区住民基本台帳に記録されている世帯主の方（全世帯）

申請期間

令和8年
9月1日～10月31日

申請方法

LINEで申請しセブン銀行ATMで受け取り
▼
最短即日の受け取りが可能

郵送で申請し指定口座で受け取り
▼
最短で11月中旬から受け取りが可能